

## 今できることに心を込めて

校長 Sr.大山 江理子

校庭では、香り高いクチナシの花もそろそろ咲き終わりを迎え、夏休みも近づいています。4月から学校生活を継続することができました。感染防止対策への保護者の皆さまのご協力に感謝いたします。児童も多くの学びを得ることができました。

昨年度は水泳教室を実施しませんでした。今年度は実施することにいたしました。感染防止対策に留意し、例年とは異なる学級単位の入水としています。詳細はお知らせした通りです。児童の泳ぐ姿をプールに見にいきました。2年生は、昨年実施していませんので初めての水泳でした。1時間の中でもだんだんと水に慣れて、動きが活発になっていく様子が見えました。実施を決めて良かったと思える瞬間でした。5年生の時間でも、グループごとに悠々と泳いでいました。

新しいことにチャレンジするとき、また特に、今回のように感染症が心配される中での実施に踏み切るときには、慎重な準備と決断力が求められます。目的を明確にすることも重要です。子どもたちにできる限り豊かな学びと学校生活を整えたい、それが私たちの願いです。例年通りでなくても今できることを、昨年実施できなかったことも今年はなんらかの形で、と考えて取り組んでいます。

6月25日のみこころの祝日でも、3学年ごとに分けてミサを行いました。久しぶりに行うミサは心に残る祈りの体験となりました。午後には各学級で映画を観ました。お子さんから話を聞いていらっしやることと思います。映画の原作はケストナーの「動物会議」でした。映画では、世界で起こっている様々な問題が取り上げられていたようですが、原作は平和な世界を創るにあ

たったの大人たちの無力さに憤る動物たちの、子どもに対する深い愛情が全面に出ています。大人たちは前例主義やペーパーワーク、国の権利拡大にとらわれて、子どものことを考えていないと動物たちが人間に抗議を申し立てます。動物たちは地球のいのちの代表者です。私たちも大人の思いにとらわれず、子どもたちの未来に向けて豊かな学校生活を創っていきたくと考えます。夏休みにはご家庭でもどうぞお子さんとよい時間をお過ごしください。

〔2年生 水泳〕



〔5年生 水泳〕



### 7月の予定

- 7月
- 5日(月) ハイチデー①
  - 1年・転入・編入生保護者会
  - 6日(火) 私学半日研修
  - 9日(金) 面接日① 午前授業
  - 12日(月) 面接日② 午前授業
  - 13日(火) 面接日③ 午前授業
  - 15日(木) 午前授業
  - 16日(金) 7月の会・大掃除(午前授業)

### 9月の予定 (前半)

- 9月
- 1日(水) 9月の会(午前授業)
  - 6日(月) 1年・転入・編入生保護者会
  - 8日(水) 母の会代表幹事会
  - 9日(木) 5年まとめのテスト①

## 行事で育む心と体

副校長 中塩 百合

### ◆◆ スポーツデー ◆◆

「スポーツデー」は、雲が陽射しを遮り、心地よい風と共に、運動をするには丁度良い一日でした。低学年と高学年の2学年ずつペアになり、競技と演技の2種目に取り組みます。競技は3クラスの対抗戦です。開閉会式は簡素に、入退場門は設置せず、走り終わった後は各自児童席に戻るなど例年とは違う形でしたが、思い切り身体を動かし、戦う相手を応援し、自分の仕事に責任をもって取り組む姿は、いつもと変わらない光景でした。

全てが終わった後は、放送を通しての優勝セレモニー。初等科生全員での一体感も味わいました。1部、2部、3部と各部の合計点が読み上げられる度に教室からは歓声があがり、総合得点の発表にはひととき大きな歓声が校舎中に響き渡りました。運動会の代わりとして行った「スポーツデー」は、新しい行事の在り方を考える機会にもなりました。係の児童が撮影・編集したスポーツデーの様子は、面接日に集会室で放映いたします。ご希望の方はお立ち寄りください。



### ◆◆ みこころのお祝い日 ◆◆

6月は「みこころの月」です。お祝い日の18日は、皆にとって忘れられない日となりました。1、2年生にとっては初めて、3年生以上にとっては2年ぶりのごミサに与りました。「聖心」の名前は「イエスのみこころ」を表していますが、ミサの中で神父様はイエスのみ心は「愛」であり、それは「与える愛です」と教えてくださいました。奉仕活動は、国内(福島県・港区)や海外(フィリピン・インドネシア・ハイチ他)の方々に絵手紙を送るという新しい取り組みをしましたが、「わたしの良いところを だれかのために」のプラクティスを実行する場となり、みこころを伝えるたくさんの素敵な作品が完成しました。

ミサ、奉仕活動、映画鑑賞と、一日を通して「イエス様のみこころ」を考え実行できたことは、皆の喜びです。静かな空気の中で、神様に温かく包まれている気持ちになったごミサの時間は特別だったと、何人もの児童が話してくれました。これからもみこころの愛を、学校内だけでなく社会や世界に伝えられるよう、皆で心をひとつにして取り組んでまいります。

